

北國新聞「丈夫がいいね」に

整形外科 部長 徳海先生

の記事が紹介されました。

第3種郵便物認可

北 國 新 聞

丈夫がいいね

1563

デキサ法の骨密度測定装置。医療費3割負担の人なら1400円ほどで検査を受けられる。金沢市の浅ノ川総合病院

骨粗鬆症



第40部 検査を知ろう

骨粗鬆症の予防

す」と説明する。デキサ法で測定した骨密度が若年成人(20〜44歳)平均値の7割未満の人は、骨粗鬆症と診断される。レントゲン撮影で骨の様子をさしに詳しく調べ、治療が進むことになる。

ある、などに当てはまる場合は「骨粗鬆症予備軍」と自覚し、治療を始めた方がいいでしょう」と徳海医師。治療は骨の新陳代謝を整える吸収抑制剤の服用を中心に、最近では注射タイプの形成促進剤も登場し、より積極的に骨密度改善を図れるようになっている。

寝ているだけで骨密度測定

基準値以下なら治療を

や診断には、骨密度測定が欠かせない。中でも最も精度が高いとされるのが、エックス線を用いた「DEXA(デキサ)法」である。レントゲンも併用

整形外科部長、徳海裕史医師は「ベッドに5分ほど横になってもらうだけで、症状が最初に現れる部位である腰椎や、大腿骨頸部(太ももの付け根)の骨密度を正確に測定できる」と説明する。骨がもろくなったり骨折は、けががなくても生じ、痛みがなく放置されるものから、痛みがあり入院が必要なものまである。脆弱性骨折が進むことになる。

「丈夫がいいね」第1〜39巻発売中。お問い合わせは北國新聞社出版局076(280)36587

健康・医療情報サイト

丈夫がいいねっと

検索

注目!!



徳海先生



十月に当院で開催された、「ふれあい感謝祭」の公開健康講座でも、「知っておきたい骨の話」というテーマで徳海先生の講演が行われました。